

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・発声練習では、ボイストレーニング・フェイストレーニング等を実行委員主体でルーティン化している。
- ・合唱コンクールに向けて、各パートで工夫しながら練習ができるようになってきた。
- ・毎時間始めに「本時のねらい」を明確化し「何を学んだか」「どのように学んだか」「何ができるようになったか」を振り返る、「学習記録」が定着した。
- ・「音楽を形づくっている要素」とその働きで「音や音楽」を捉えていく事が浸透している。

(2) 課題

- ・自分で試行錯誤しながら、さらに音楽表現を創意工夫していく。
- ・恥ずかしがらず、失敗を恐れずに表現する。表情豊かに歌う等の部分を伸ばしていく。
- ・自身の課題意識を持ち、粘り強く、繰り返し反復練習する習慣を身に付ける。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自信を持って歌えるように日常から独唱する場面を増やし、範唱を積極的に行う。基礎・基本の定着のため、楽典の学習に取り組む。	反復練習を重ね、曲やメロディーを理解させるとともに強弱やテンポ、響きのある歌声等段階に応じてのアプローチをしていく。	興味をもたせるアプローチを継続して行ない、興味・関心・意欲を高めていく。ICTを積極的に活用し、興味をもたせる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自信を持って歌えるように独唱する場面を増やし、自分のパートの役割りを理解しながら歌う。楽典を楽曲と結び付けながら理解する。	曲やメロディーを理解し自信をもって表現できるようにする。頭声発声を意識させ、響きのある歌声作りを心掛けしていく。	興味を持たせるアプローチを継続して行なう。さらに関心がもてるような発問の仕方を工夫する。ICTを積極的に活用し、興味をもたせる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
合唱コンクール等の行事への取り組みから、仲間との意識、技能ともに高めていく。パート音だけでなく、曲の構成を理解し歌えるようにする。	曲やメロディー、自分のパートの役割りを理解させる。響きのある歌声で美しいハーモニーを味わい、他の声部との調和を図る。	今まで学習したことを実践し深めることにより、さらに興味をもち積極的に行動できるような心情を育てていく。ICTを積極的に活用し、興味をもたせる。